

## 募集演題

### シンポジウム・ワークショップ

シンポジウム 1: 肝臓に対するアブレーション治療の功罪

— 適応例と非適応例の見極め —

シンポジウム 2: 肝臓治療の選択

— 切除 vs. 鏡視下手術 vs. アブレーション —

ワークショップ: 肝臓に対するアブレーション治療

— 基本と工夫 —

シンポジウム 1 では、特にアブレーション治療の非適応例とはどのようなものかについて、治療後再発、合併症等の観点から議論をしていただければと思います。

シンポジウム 2 では、飛躍的に進歩した鏡視下手術によって今後、アブレーション治療、切除はどのように位置づけられるかに焦点をあてて演題募集します。ワークショップでは、改めて基本手技に立ち戻って、マイクロ波、ラジオ波、さらには新たなエネルギーデバイス等についての演題を募集します。

### 一般演題

泌尿器・婦人科・肝臓・胆道・肺・気管支領域等についてマイクロ波だけでなくラジオ波も含めて、局所治療・低浸襲治療に関する演題を幅広く募集いたします。特にアブレーションでの安全性確保、新たなエネルギーデバイス、アブレーション支援システム、肝切除における前凝固、さらには癌に対するアブレーション後の長期生存例、子宮内膜アブレーション保険診療後の再評価等について奮って演題ご応募下さいますようお願い申し上げます。